

平成23年度(2011年度)「豊中市立図書館評価システム」 評価表 リーディング項目

空白=不明 0=ゼロ -=対象外 →=合計参照 ←=左に含まれる

*当初設定目標の数値は平成20年度に設定

*市区立の比較:日本の図書館2011統計と名簿

((社)日本図書館協会発行)人口30万以上の市区立の平均値(政令指定都市は除く)

典拠記号 1=豊中の図書館活動 2=各館からの聞き取り 3=業務統計 4=その他 5=図書館

項目	年度	合計	全館	岡町	館外	庄内	庄内幸町	千里	野畑	東豊中	服部	高川	蛭池	典拠	市区立の比較	評価内容(客観的变化/方向性等)	H23評	
(1)経営・運営・管理状況に関する評価																		
1.図書館として適切な経営が行われているか。																		
人材育成による職員の能力・資質向上	内部職員研修(豊中市の主催(図書館主催のものを含む))																	
	回数	当初設定目標	50															
		23年度	38		←	←	←	←	←	←	←	←	←	←				
		22年度	45		←	←	←	←	←	←	←	←	←	←				
		21年度	41		←	←	←	←	←	←	←	←	←	←				
		20年度	46		←	←	←	←	←	←	←	←	←	←				
	人数	当初設定目標	400															
		23年度	220		←	←	←	←	←	←	←	←	←	←				
		22年度	464		←	←	←	←	←	←	←	←	←	←				
		21年度	440		←	←	←	←	←	←	←	←	←	←				
		20年度	247		←	←	←	←	←	←	←	←	←	←				
	達成度																	
	(受講者アンケート)	当初設定目標	70%															
		23年度	84%															
		22年度	82%															
	図書館の数、配置の適切さ	外部職員研修(豊中市以外の主催)																
		件数	当初設定目標	45														
			23年度	35		←	←	←	←	←	←	←	←	←	←			
			22年度	43		←	←	←	←	←	←	←	←	←	←			
			21年度	26		←	←	←	←	←	←	←	←	←	←			
		20年度	24		←	←	←	←	←	←	←	←	←	←				
人数		当初設定目標	55															
		23年度	59		←	←	←	←	←	←	←	←	←	←				
		22年度	49		←	←	←	←	←	←	←	←	←	←				
		21年度	40		←	←	←	←	←	←	←	←	←	←				
		20年度	36		←	←	←	←	←	←	←	←	←	←				
達成度																		
(受講者アンケート)		当初設定目標	70%															
		23年度	82%		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
		22年度	83%		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
図書館費合計(予算額)		23年度																
(A)		22年度	1,040,006,000		28.7%		9.6%	3.1%	11.8%	15.7%	7.5%	6.8%	7.5%	9.6%				
		21年度	1,074,783,000		24.5%		9.5%	3.0%	10.7%	27.4%	5.5%	5.4%	6.2%	7.5%				
		20年度	1,059,284,000		23.5%		8.6%	3.6%	10.4%	25.3%	5.8%	5.7%	7.1%	8.5%				
市民一人当たり図書館費		23年度																
(A)÷人口	22年度	2,666																
	21年度	2,773																
	20年度	2,734																
(A)÷(団体+個人)利	23年度			-														
	22年度	286		-	324	-	408	742	127	312	249	165	274	529				
	21年度	296		-	353	-	444	413	164	478	172	148	237	286				
	20年度	294		-	347	-	405	504	166	436	183	165	254	333				

【現状】
 市内及び図書館の内部研修は、人権研修を含め、市の職員として、また豊中市立図書館の職員として身につけるべき基礎研修を行っている。市の施策において目指す方向性の理解を深めるため、「地域自治システム」「協働」「学校図書館」「自殺予防対策」に関わる研修に参加した。また、職員研修所の支援制度を活用して、コミュニケーションの改善と向上を目指す研修を実施したほか、図書館における市民との協働について、職員と市民ボランティアがともに学んだ。また、外部研修としては、大阪府図書館司書セミナーや大阪公共図書館協会主催の各種研修や図書館地区別研修(日本図書館協会・全国公共図書館協議会・近畿公共図書館協議会共催)および大阪府子ども文庫連絡会主催の児童文化講座等の研修に参加し、図書館業務の充実・向上につなげることをめざしている。各館の業務上の都合で参加できる機会が限られるため、それを補うために図書館職員用の情報共有システムで研修記録を共有している。また、国立国会図書館・日本図書館協会共催の障害者サービス研修については、職員が参加するとともに、実習館として研修受け入れを行った。全国的に図書館評価システムへの関心が高いことから、全国図書館大会や図書館司書専門講座(文部科学省・国立教育政策研究所共催)で、豊中市立図書館の図書館評価システムについて、事例発表を行った。

図書館職員の自主研修活動も精力的に行われている。

【今後の取組】
 今後も、社会の動向と地域の課題に関わる研修と、地域の知の拠点を担う職員として必要となる業務のスキルアップにつながるよう、研修の実施と参加調整を行う。24年度作成中の豊中市立図書館の中長期計画ーグランドデザインの方向性に沿う人材育成に取り組む。

【現状】
 図書館未整備地域については、現在動く図書館による巡回サービスを行っているが、市民の利便性向上を目指して、吹田市と市境の各3館において館を限定して広域利用の試行を開始した。市の基本政策を踏まえ、庄内幸町図書館の2階を機能変更し「学校図書館支援ライブラリー」を設置した。

【今後の取組】
 南部コラボの可能性を見据えて、全館サービスの望ましいあり方を考えていく。

項目	年度	合計	全館	岡町	館外	庄内	庄内幸町	千里	野畑	東豊中	服部	高川	蛭池	典拠	市区立の比較	評価内容(客観的変化/方向性等)	H23評
2.市民にとって質の高いサービスが提供されているか																	
祝日開館・開館時間	祝日開館	23年度				有		有	無	有	有	無	無	無	無	【現状】 平成22年度から開始した、4地域館の全祝日開館は、2年目になり開始当初に比べ利用者に浸透してきた。全祝日(14日)全館合計で、利用人数 25087人→27037人 貸出冊数 84204冊→90624冊 となり、それぞれ7%の増加となっている。 【今後の取組】 今後も、祝日開館の実施について、あらためて広報に掲載するなど、市民にPRし利用促進をはかる。	3
		22年度				有		有	無	有	有	無	無	無	無		
		21年度				土日のみ		土日のみ	無	土日のみ	土日のみ	無	無	無	無		
		20年度				土日のみ		土日のみ	無	土日のみ	土日のみ	無	無	無	無		
	休館日の満足度																
		当初設定目標	3														
		20年度	2.71														
	開館時間	23年度				月休館 火～金10～ 19土日10～ 17		月休館 火～金10～ 19土日10～ 17	月休館 10～17	月休館 火～金10～ 20土日10～ 17	月休館 火～金10～ 19土日10～ 17	月休館 10～17	月休館 10～17	金休館10～ 17ただし月 水は19まで	金休館10～ 17ただし月 水は19まで		
		22年度															
		21年度															
	20年度																
開館時間の満足度																	
	当初設定目標	3															
	20年度	2.76															
蔵書状況	蔵書冊数															【現状】 23年度は、総務省の交付金「住民生活に光をそそぐ交付金」を活用し、暮らしの課題解決に役立つ「医療・健康情報」(岡町図書館)、「多文化共生」(庄内図書館)、「ビジネス・就業」(千里図書館)、「子育て・DV(ドメスティック・バイオレンス)」(野畑図書館)の資料の充実をはかった。また、市政施行75周年を記念し、手塚治虫文庫を7/20～3/31まで開設した。そのため、蔵書更新率が上昇したが、目標値には達していない。庄内幸町に関しては、2階を学校支援ライブラリーに機能変更するにあたり、資料の精査をすすめ、教員支援資料を整備したことによる変化を示している。その他視聴覚資料等については、雑誌の休・廃刊の増加、CD・ビデオなどの消耗による除籍などにより減少している。 【今後の取組】 今年度充実させた資料を、全館で活用できるよう効果的な運用をすすめる。 暮らしの課題解決に役立つよう、今後も多様な資料を利用者に提供できるよう努める。	4
	蔵書冊数=図書資料 +視聴覚資料	当初設定目標	1100000														
		23年度	1129824	260355		77055	27032	142042	309938	76010	73354	94467	69571				
		22年度	1125644	263672	←	75444	29392	140101	306373	72815	71858	96878	69111				
		21年度	1113573	265053	←	75990	31534	135751	305003	72033	70328	89843	68038				
		20年度	1097340	265029	←	75804	31512	129206	301359	70619	66770	89779	67262				
	図書資料	23年度	1037901	234423	←	70006	25238	128409	296548	71172	67982	81484	62639				
		22年度	1029974	236822	←	68149	27522	125836	293191	67474	66136	83110	61734				
		21年度	1019516	238312	←	68380	29580	121917	291343	66868	64555	77156	61405				
		20年度	1010460	240428	←	67444	29434	116913	289795	65884	62073	77516	60973				
	その他視聴覚資料、 雑誌等	23年度	91923	25932	←	7049	1794	13633	13390	4838	5372	12983	6932				
		22年度	95670	26850	←	7295	1870	14265	13182	5341	5722	13768	7377				
		21年度	94057	26741	←	7610	1954	13834	13660	5165	5773	12687	6633				
		20年度	86880	24601	←	8360	2078	12293	11564	4735	4697	12263	6289				
		当初設定目標	2.8冊(ただし図書のみでは2.5冊)														
	市民一人あたり(平成 23年4月1日現在)の 蔵書冊数	23年度	2.9冊(ただし図書2.7冊)	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←			
		22年度	2.9冊(ただし図書2.6冊)	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←			
		21年度	2.9冊(ただし図書2.6冊)	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←			
		20年度	2.8冊(ただし図書資料)	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←			
		蔵書更新率	当初設定目標	9.7													
蔵書更新率=(受入冊 数+除籍冊数)÷蔵書 冊数 [単位は%]	23年度	9.0	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←				
	22年度	8.2	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←				
	21年度	7.9	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←				
	20年度	7.6	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←				
蔵書新鮮度	当初設定目標	0.044															
蔵書新鮮度=年間受入 冊数/蔵書冊数	23年度	0.048	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←				
	22年度	0.046	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←				
	21年度	0.044	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←				
	20年度	0.043	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←				
資料亡失対策(資料亡失数)	当初設定目標	6400															
	23年度	3294	500		442	178	359	433	259	274	484	365					
	22年度	7011	1149	←	907	354	736	995	565	593	979	733					
	21年度	7080	1200	←	961	290	747	1096	640	535	900	711					
	20年度	7104	1303	←	897	277	639	919	589	650	1058	772					

項目	年度	合計	全館	岡町	館外	庄内	庄内幸町	千里	野畑	東豊中	服部	高川	蛭池	典拠	市区立の比較	評価内容(客観的变化/方向性等)	H23評	
3.市民参画による運営が図られているか																		
図書館協議会の活動状況	開催回数															4	-	【現状】 図書館協議会は、図書館の運営に関して館長の諮問に応じるとともに、図書館の行う図書館サービスにつき、館長に対して意見を述べる機関である。23年度は、前年からの諮問に対して「豊中市立図書館の課題解決支援機能について(中間まとめ)」をいただいた。今後、「暮らしの課題解決支援サービス」の取組みを進めるうえで、考え方の指針としていく。 【今後の取組】 今後も地域の実情を踏まえ、利用者の声を反映した図書館運営ができるよう定期的に開催し、その時々々の図書館の課題について諮り、討議していただく。
	当初設定目標	3																
	23年度	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
	22年度	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
	21年度	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
	20年度	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
	資料公開(HP)のアクセス件数																	
当初設定目標	1200																	
23年度	1135	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
22年度	529	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
21年度	1008	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
図書館評価検討委員会の活動状況	開催回数															4	-	【現状】 24年度開催予定。 図書館評価検討委員会についてのアクセスは、目標値を大きく上回った。図書館評価システムについては、他の自治体からの問い合わせを受けることもあり、関心の高さがうかがえる。
	当初設定目標	3																
	23年度	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
	22年度	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
	21年度	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
	資料公開(HP)のアクセス件数																	
	当初設定目標	1200																
23年度	2824	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
22年度	2307	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
21年度	1908	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
4.図書館の情報発信・PRは十分にこなされているか																		
市民への図書館サービスのPR	ホームページ更新頻度															2	-	【現状】 ホームページの更新頻度は減少している。メールマガジンは庁内各課の協力を得て、配信できる情報が増えており、登録件数も伸びている。 【今後の取組】 行事案内などは頻りに更新しているが、実施後の報告などもアップすることで、さらに図書館サービスのPRをしていく。
	当初設定目標	250																
	23年度	166	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
	22年度	182	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
	21年度	185	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
20年度	174	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
広報活動(館報・図書館だより・新一年生、三年生ピラなど)	配布枚数															2	-	【現状】 発行回数は減少しているが、千里図書館では、中学生向けの情報誌「YA! BOOKS通信」を発行している。また、小学校の新一年生や3年生に対して図書館案内のちらしを、定期発行している。市制75周年関連事業について取材を受けたほか、「住民生活に光をそぐ交付金」を活用して資料の充実や専門機関との連携事業を開始した「暮らしの課題解決」支援サービス、地域・市民との協働で取り組む「ブックスタート事業えほんはじめまして」について、情報提供をおこなった。 また、デジタルアーカイブをテーマとした図書2冊が出版され、「北摂アーカイブス」が紹介された。(『アーカイブスが社会を変える—公文書管理法と情報革命』平凡社『デジタル文化資源の活用』勉誠出版)さらに、「北摂アーカイブス」は、国立国会図書館公共図書館のデジタルアーカイブ推進会議によって優良事例とされた。 【今後の取組】 今後もあらゆるメディアを通じて、図書館活動を紹介・PRすることで、図書館サービスの様々な側面を紹介していく。
	当初設定目標	35000																
	23年度	17820	7200	0	120	2500	0	5600	0	0	0	0	2400					
	22年度	27855	9000	0	100	4850	0	11500	0	0	0	0	2405					
	21年度	32200	7700	0	500	14000	0	10000	0	0	0	0	0					
	20年度	28610	7700	0	660	14000	0	6250	0	0	0	0	0					
	マスコミ・ミニコミ掲載数															4	-	
	当初設定目標	90																
	23年度	94	36	23	13	1	0	5	5	7	2	1	1					
	22年度	67	22	16	27	5	0	8	2	7	1	0	1					
21年度	64	24	13	24	5	0	8	3	8	1	0	2						
20年度	84	28	12	6	1	8	7	10	4	3	5	5						
館内のOPAC端末(全体に対する知らなかった人の割合)																		
当初設定目標	-																	
20年度	7.0%	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←					
動く図書館による巡回サービス(全体に対する知らなかった人の割合)																		
当初設定目標	-																	
20年度	11.3%	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←					
団体貸出サービス(全体に対する知らなかった人の割合)																		

項目	年度	合計	全館	岡町	館外	庄内	庄内幸町	千里	野畑	東豊中	服部	高川	蛭池	典拠	市区立 の比較	評価内容(客観的変化/方向性等)	H23 評					
サービスの認知度	当初設定目標	-												4	-	【現状】 【今後の取組】 平成24年実施予定						
	20年度	40.3%		←	←	←	←	←	←	←	←	←	←									
	レファレンスサービス(全体に対する知らなかった人の割合)																					
	当初設定目標	-																				
	20年度	17.4%		←	←	←	←	←	←	←	←	←	←									
	リクエストサービス(全体に対する知らなかった人の割合)																					
	当初設定目標	-																				
	20年度	8.9%		←	←	←	←	←	←	←	←	←	←									
	障害者サービス(全体に対する知らなかった人の割合)																					
	当初設定目標	-																				
	20年度	28.6%		←	←	←	←	←	←	←	←	←	←									
	多文化サービス(全体に対する知らなかった人の割合)																					
	当初設定目標	-																				
	20年度	33.2%		←	←	←	←	←	←	←	←	←	←									
	ビジネス支援サービス(全体に対する知らなかった人の割合)																					
	当初設定目標	-																				
	20年度	48.5%		←	←	←	←	←	←	←	←	←	←									
	子ども向けおはなし会・紙芝居(全体に対する知らなかった人の割合)																					
	当初設定目標	-																				
	20年度	12.6%		←	←	←	←	←	←	←	←	←	←									
映画会(全体に対する知らなかった人の割合)																						
当初設定目標	-																					
20年度	24.5%		←	←	←	←	←	←	←	←	←	←										
図書館ホームページでの情報提供(全体に対する知らなかった人の割合)																						
当初設定目標	-																					
20年度	21.1%		←	←	←	←	←	←	←	←	←	←										
インターネット予約サービス(全体に対する知らなかった人の割合)																						
当初設定目標	-																					
20年度	20.3%		←	←	←	←	←	←	←	←	←	←										
5.その他運営の健全化への対応は図れているか																						
個人情報保護とデータの 適正管理	豊中市情報セキュリティポリシーに基づく研修 回数	当初設定目標	9											2	-	【現状】課長・係長向けに実施される情報セキュリティ研修を受講する ほか、図書館業務およびシステムに関わる情報セキュリティについて、 研修を受講した。【今後の取組】 個人情報保護とデータの適正管理は業務の前提として守るべき基本的 かつ重要な事項であり、組織全体として取り組む。	2					
	23年度	5		←	←	←	←	←	←	←	←	←										
	22年度	9		←	←	←	←	←	←	←	←	←										
	21年度	9		←	←	←	←	←	←	←	←	←										
	20年度	9		←	←	←	←	←	←	←	←	←										

項目	年度	合計	全館	岡町	館外	庄内	庄内幸町	千里	野畑	東豊中	服部	高川	蛭池	典拠	市区立の比較	評価内容(客観的変化/方向性等)	H23 評
(2)図書館の設置目的・使命の達成状況に関する評価																	
1.市民が求める資料や情報を収集し、迅速・的確に提供できているか。																	
個人貸出	登録人数	当初設定目標	171000													170,151	3
		23年度	155510		28133	3899	10377	4109	38082	25128	13613	14322	7264	10583			
		22年度	159368		29153	4141	10645	4409	36072	25984	13772	14922	7729	12541			
		21年度	166358		31042	4304	11057	4908	36664	27278	14407	16078	8986	11634			
		20年度	155041		29162	4411	10719	4749	32987	25571	13250	14917	8387	10888			
	貸出冊数	当初設定目標	3623000														
		23年度	3384031	202379(継続)	570518	81450	202338	54821	715078	560037	331853	381587	227199	259150			
		22年度	3470028	110733(継続)	591708	85863	206921	68003	703184	573073	331098	382209	251653	276316			
		21年度	3507185		599094	84909	216488	75442	680043	597177	332021	376877	269074	276060			
		20年度	3487141		601025	82991	219510	72885	657091	608679	334235	364812	275081	270832			
	貸出密度(市民1人あたりの貸出冊数)	当初設定目標	9.3														
		23年度	8.7		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
		22年度	8.9		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
	21年度	9.0		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
	20年度	9.0		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
カウンターサービス	資料案内の件数	当初設定目標	23000													-	4
		23年度	30141		3475		1446	632	15533	3773	1718	1519	423	1622			
		22年度	28852		4310	←	1299	276	13425	4899	982	1151	888	1622			
		21年度	20342		2717	←	1357	364	8270	3285	493	570	982	2304			
		20年度	20031		1560	←	1936	166	9649	3550	373	723	732	1342			
	職員対応の満足度	当初設定目標	3.5														
	20年度	3.38															
リクエストサービス	リクエスト総数	当初設定目標	640000													427,477	4
		23年度	767907	499908	54342	9129	18163	9567	53771	40486	20995	29244	21592	19839			
		22年度	754554	485419	46336	9024	18679	8017	54923	40956	20549	27987	20736	21928			
		21年度	723038	450931	48768	9083	17983	8316	53337	41723	21376	28091	20142	23288			
		20年度	623173		116871	20113	38886	16032	124343	91007	60852	65825	35413	53831			
	提供件数	当初設定目標	630000														
		23年度	701168		129993	22039	42115	17765	151691	97267	69106	75698	38895	56599			
		22年度	687703		132203	20956	40864	17016	147360	95380	65996	72947	39014	55967			
		21年度	661639		126449	19896	38050	18125	138713	94870	64542	67267	37308	56419			
		20年度	595064		112911	19155	37451	15463	117074	87724	57495	61324	34519	51948			
提供率(%)	当初設定目標	98%															
リクエスト提供件数／ 【リクエスト受付件数 (本人取消などは抜く) +おこわり件数+入 手不可件数】	23年度	95.3%		←	←	←	←	←	←	←	←	←	←				
	22年度	95.1%		←	←	←	←	←	←	←	←	←	←				
	21年度	95.6%		←	←	←	←	←	←	←	←	←	←				
	20年度	95.5%		←	←	←	←	←	←	←	←	←	←				
レファレンスサービス(参考 業務)	レファレンス件数	当初設定目標	4500													-	3
		23年度	3818		630	←	114	39	1625	683	168	315	85	159			
		22年度	4538		650	←	290	30	1675	875	291	276	292	159			
		21年度	3510		776	←	247	52	1002	613	232	264	158	166			
		20年度	3659		888	←	235	49	1144	698	175	260	59	151			
	利用者の満足度	当初設定目標	42%														
(大いに満足している 人の割合)	20年度	37.80%															

項目	年度	合計	全館	岡町	館外	庄内	庄内幸町	千里	野畑	東豊中	服部	高川	蛭池	典拠	市区立の比較	評価内容(客観的变化/方向性等)	H23 評	
2.他の自治体の図書館や大学・類縁機関との相互協力をすすめているか。																		
近隣自治体との相互利用 (広域利用のみ市内在勤の方は含まず)	対象自治体数															【現状】 図書館未整備地域の市民の利便性向上のため、5月より吹田市と広域利用の試行を開始。実施館は豊中市の千里、東豊中、高川図書館と吹田市の千里、千里山・佐井寺、江坂図書館の各3館。利用状況をみると、吹田市民の豊中市立図書館での貸出冊数は23,966冊で豊中市民の吹田市立図書館の利用の約3倍となっており、その大半は交通の便が良い千里図書館に集中している。 箕面市との広域利用については、豊中市における箕面市民の利用が増加し、貸出人数については箕面市における豊中市民の利用を上まわっている。 箕面市との2市間での広域利用を拡大し、豊能地区の池田市、豊能町、能勢町も加えた3市2町において全館を対象にした広域利用の24年度実施に向けて調整を行った。 【今後の取組】 吹田市との広域利用について、寺内地域など図書館未整備地域での利用を促進するため、利用状況の分析をもとに効果的なPR方法を検討する。また豊中市民の利便性の向上を目指して、対象館の見直しの検討も行う。	1	
	当初設定目標	-																
	23年度	2						2		1		1	1					
	22年度	1						1		-		-	-					
	21年度	1						1		-		-	-					
	20年度	1						1		-		-	-					
	豊中市における箕面市民の登録人数																	
	当初設定目標	-																
	23年度	2710						2430							280			
	22年度	2381						2005							376			
	21年度	1954						1597							357			
	20年度	1634						1284							350			
	豊中市における箕面市民の貸出冊数																	
	当初設定目標	-																
	23年度	23002						21017							1985			
	22年度	21478						19873							1605			
	21年度	18396						16899							1497			
	20年度	15429						14037							1392			
箕面市における豊中市民の貸出冊数				萱野南	西南													
当初設定目標	-																	
23年度	28387			13262	15125													
22年度	28651			14864	13787													
21年度	26220			12371	13849													
20年度	25577			11855	13722													
相互貸借	貸出冊数															1	【現状】 増加傾向にあった貸出冊数は23年度減少しているが、当館が借り受ける冊数は小幅ながら増加している。資料要求の多様化がさらに進み、また不明図書の手当ての面でも、相互貸借は不可欠なものとなっている。また大阪府立図書館の府内協力車のサポートにより、府内各市町村の図書館からスムーズに資料を借りることができるため、迅速な提供が可能になっている。 【今後の取組】 幅広い分野に混在する資料要求に対して、今後も大学図書館、国立国会図書館や他市、府外の図書館からの借用を含め対応していく。府外の図書館や国立国会図書館などから取り寄せる場合は郵送料の費用が発生するが、できるだけ要望に沿った提供を行っていく。	3
	当初設定目標	3200																
	23年度	5047	5047	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←				
	22年度	5859	5859	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←				
	21年度	4506	4506	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←				
	20年度	3058	3058	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←				
	借出冊数																	
	当初設定目標	7100																
	23年度	7025		1521	←	372	171	1631	847	555	914	452	563					
	22年度	6855		1219	←	411	83	1541	988	589	896	573	555					
21年度	6776		1297	←	461	142	1327	999	860	798	310	582						
20年度	6626		1386	←	465	123	1192	919	868	697	437	539						
紹介状の作成	件数															2	【現状】 市民が大学図書館等の専門的な資料を必要とする場合、市立図書館が仲介することによって、一個人の利用を可能とするなくてはならないサービスである。利用者の希望により、借出しや閲覧、複写の問い合わせや紹介等を行っている。全体の件数は多くないが、同じ利用者が複数回利用する傾向が見られる。 【今後の取組】 サービスの裾野を広げるため、レファレンス事例の公開も徐々に行っているが、より効果的なPR方法について検討を行う。また引き続き、大学図書館と連携が進んでいる公共図書館の事例を研究するなど、連携の可能性も探る。	4
	当初設定目標	15																
	23年度	13		0	←	0	←	5	7	0	1	0	0					
	22年度	8		1	←	1	←	4	1	1	0	0	0					
	21年度	14		4	←	3	←	7	0	0	0	0	0					
20年度	16		6	←	1	←	3	2	0	2	0	2						
国立国会図書館や大学図書館への複写依頼	件数															2	【現状】 市民が大学図書館等の専門的な資料を必要とする場合、市立図書館が仲介することによって、一個人の利用を可能とするなくてはならないサービスである。利用者の希望により、借出しや閲覧、複写の問い合わせや紹介等を行っている。全体の件数は多くないが、同じ利用者が複数回利用する傾向が見られる。 【今後の取組】 サービスの裾野を広げるため、レファレンス事例の公開も徐々に行っているが、より効果的なPR方法について検討を行う。また引き続き、大学図書館と連携が進んでいる公共図書館の事例を研究するなど、連携の可能性も探る。	4
	当初設定目標	30																
	23年度	42		17	0	0	0	1	19	5	0	0	0					
	22年度	34		10	0	1	0	2	20	0	0	0	1					
	21年度	33		3	0	0	0	4	26	0	0	0	0					
20年度	28		7	0	0	0	4	15	0	0	0	2						

項目	年度	合計	全館	岡町	館外	庄内	庄内幸町	千里	野畑	東豊中	服部	高川	蛭池	典拠	市区立の比較	評価内容(客観的变化/方向性等)	H23評			
3.市内の公共施設との連携・協力を推進し、市民の多様な情報ニーズに応えているか。																				
公民館・人権まちづくりセンター・教育センター・地域教育振興課との連携	事業実施回数	当初設定目標	70													【現状】〈連携がすすんでいる施設や部局との連携〉 事業回数、参加人数ともに当初の目標をはるかに超えて毎年増加している。特に複合施設では、その特徴を生かし蛭池公民館、庄内公民館、千里コラボでの連携事業が進んでいる。また、人権まちづくりセンターに出向いての子どもへのおはなし会や地域子ども教室などは定着している。 【今後の取組】 定着してきている各施設・部局との連携を、今後も継続・発展させ、ともに地域の活性化・課題解決に貢献する取り組みを進めていく。	4			
		23年度	153		24		6	0	40	23	0	0	14	46						
		22年度	133		23	←	9	0	21	24	0	0	14	42						
		21年度	78		18	←	15	0	16	0	0	0	5	24						
		20年度	68		13	←	17	0	11	0	0	0	12	15						
	参加人数	当初設定目標	2500																	
		23年度	6092		394		1165	0	1539	532	0	0	292	2170						
		22年度	5839		217	←	983	0	784	425	0	0	296	3134						
		21年度	4222		178	←	1113	0	715	0	0	0	329	1887						
		20年度	2557		185	←	941	0	582	0	0	0	359	490						
	資料情報提供数	当初設定目標	2500																	
		23年度	2150		←	←	←	←	←	←	←	←	←	←						
		22年度	1753		←	←	←	←	←	←	←	←	←	←						
	21年度	2014		←	←	←	←	←	←	←	←	←	←							
	20年度	1956		←	←	←	←	←	←	←	←	←	←							
学校・幼稚園・保育所・子育て支援センターとの連携	事業実施回数	当初設定目標	85													【現状】〈子どもを対象にした施設との連携〉 事業回数・参加人数ともに横ばいであるが、当初目標を大きく上回っており、小・中学校や子育て支援センター、保育所、幼稚園、高校との連携は定着してきている。小学3年生の図書館見学や中学2年生の職場体験学習(CUL)、放課後子どもクラブでのおはなし会、子育て支援センターでの絵本講座などを毎年行っている。また、幼稚園教諭や保育園・保育士向けの絵本講座、小学校教諭への読み聞かせ研修、高校への出前講座など、多彩な事業で多様なニーズにも応えている。数にはあげていないが、幼稚園や保育所・園が散歩で図書館を訪れた際に、おはなし会を行っている事例も多数ある。 【今後の取組】 子ども読書活動の推進に取り組み、働きかけを行っているが、今後も潜在的なニーズの掘り起こしを念頭におきながら、要望に応え、効果的な事業を行っていく。	4			
		23年度	161		44		17	0	16	16	16	10	25	17						
		22年度	168		34	←	20	1	18	14	15	7	28	31						
		21年度	155		25	←	27	1	11	11	13	10	22	35						
		20年度	79		7	←	14	2	3	11	22	0	13	7						
	参加人数	当初設定目標	4000																	
		23年度	6652		1921		625	0	554	1108	836	405	822	381						
		22年度	6713		1405	←	843	90	833	899	855	363	803	622						
		21年度	7397		1616	←	1078	92	852	890	659	618	825	767						
		20年度	4373		412	←	728	261	206	1238	869	0	376	283						
	とよなか国際交流センターとの連携	事業実施回数	当初設定目標	80															【現状】〈多文化共生を目的にした施設との連携〉 「おやこでにほんご」が主なものである。関連事業として「おやこでにほんごおはなし会」も行った。平成23年度の課題解決支援サービスを始めるにあたって、国際交流センターに、「多文化・共生」関連で収集する資料について意見を伺うなど協力してもらった。「せんにやこでにほんご」の次年度実施に向けて、事前協議を行った。 【今後の取組】 23年度からとよなか国際交流センターの指定管理者となった国際交流協会へ改めてPRを行い、資料情報の提供も再び進めていけるようにする。 暮らしの課題解決支援サービスのひとつ「多文化共生」で購入した外国語資料や日本語を勉強するための資料などを国際交流センターにバックで貸出し、活用してもらえるよう検討していく。	3
			23年度	64		25		39	0	0	0	0	0	0	0					
			22年度	67		26	←	41	0	0	0	0	0	0	0					
		21年度	73		26	←	39	0	8	0	0	0	0	0						
		20年度	67		27	←	35	0	5	0	0	0	0	0						
参加人数		当初設定目標	800																	
		23年度	843		280		563	0	0	0	0	0	0	0						
		22年度	959		324	←	635	0	0	0	0	0	0	0						
		21年度	820		229	←	507	0	84	0	0	0	0	0						
		20年度	594		369	←	126	0	99	0	0	0	0	0						
資料情報提供数		当初設定目標	100																	
		23年度	0		←	←	←	←	←	←	←	←	←	←						
		22年度	30		←	←	←	←	←	←	←	←	←	←						
	21年度	364		←	←	←	←	←	←	←	←	←	←							
	20年度	89		←	←	←	←	←	←	←	←	←	←							

項目	年度	合計	全館	岡町	館外	庄内	庄内幸町	千里	野畑	東豊中	服部	高川	蛭池	典拠	市区立の比較	評価内容(客観的変化/方向性等)	H23評	
庁内各部署及び市政情報コーナーとの連携	事業実施回数													1 & 3	-	【現状】〈上記以外の施設や部局との連携〉 23年度は「住民生活に光をそそぐ交付金」を活用し、暮らしの課題解決支援サービスに取り組み、庁内各部署や関係機関、各施設との新たな連携もすすめた。市立豊中病院やすてっぷから講師を招いての医療やDVの講演会、地域経済課などが行う「とよなか産業フェア」などへの参加や図書の展示、健康支援室(2012年度から地域保健課)が行う健康カレッジへの資料展示や参加者への貸出・リストの配布など、新たな事業を展開した。また、行財政再建対策室・職員研修所・情報政策室と連携し、運営している「庁内仕事応援サイト」については、より利用しやすいように改善を行った。e-レファレンスなどのコンテンツの他に、庁内向けに新着図書を分野別に紹介しており、紹介冊数を指標の数値に反映している。サイトへのアクセス件数はトップページで4,969件。さらに、各職種別研修でサイトと図書館サービスの説明とチラシの配布(計320部)を行った。PRIに努めた結果、庁内からのレファレンス件数は4倍に増加した。 【今後の取組】 課題解決支援サービスについては次年度も継続して行い、関連部局や機関との連携も引き続き進めていく。また、行政支援サービスにおいては、「仕事応援サイト」の活用、研修への参加など人材育成等にも関わりながら、他市での事例を調査するなど支援への新たな展開を研究する。	4	
	当初設定目標	70																
	23年度	105		36		23	0	24	7	6	4	4	1					
	22年度	89		30	←	21	0	24	4	3	4	1	2					
	21年度	67		21	←	17	0	22	1	5	0	0	1					
	20年度	71		21	←	19	0	15	15	0	0	1	0					
	参加人数																	
	当初設定目標	3800																
	23年度	5168		2132		868	0	1481	254	191	106	98	38					
	22年度	4765		1861	←	855	0	1549	167	107	140	18	68					
	21年度	3739		1506	←	695	0	1246	35	177	60	0	20					
	20年度	3732		1040	←	640	0	926	1126	0	0	0	0					
	資料情報提供数																	
当初設定目標	700																	
23年度	*1175		←	←	←	←	←	←	←	←	←	←						
22年度	440		←	←	←	←	←	←	←	←	←	←						
21年度	324		←	←	←	←	←	←	←	←	←	←						
19年度	222		←	←	←	←	←	←	←	←	←	←						
4.ITを活用した図書館サービスの向上を図るとともに市民の情報活用を支援しているか。																		
図書館ホームページの公開	アクセス件数													1	-	【現状】 ホームページの利用は年々増加している。23年度は、パスファインダー「検索ナビ」を新たに9種類公開したほか、レファレンス事例の公開、「豊中について」のページ、「暮らしの課題解決」ページなど新たに作成し、ホームページの充実を図った。また、以前市のホームページに掲載されていた「豊中の昔話」の音声データを拡充して図書館ホームページから聞けるように調整した。 【今後の取組】 今後も、検索ナビや闘病記リストなどホームページの内容を充実させるとともに、更新頻度をあげ、情報の鮮度をたもつよう努める。次期システムに向けて、ホームページの更新等がスムーズにできるよう検討をすすめる。	3	
	トップページ	当初設定目標	1,600,000															
	23年度	1185358	65710(携帯)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
	22年度	1085630	62647(携帯)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
	21年度	1043618	43000(携帯)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
	20年度	1209713		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
	検索条件入力(詳細検索画面)	当初設定目標	848,000															
	23年度	1450875		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
22年度	1217387		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
21年度	1119212		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
20年度	711910		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
WEBやOPACでの予約件数	WEB予約件数													1	-	【現状】 WEB予約は年々増加している。携帯サイトの利用の定着、さらに、スマートフォン携帯、タブレット端末の普及により、今後も増加が見込まれる。館内OPACの予約は減少傾向にあるが、館内OPAC自体は子どもを含めよく利用されており、検索結果をシート出力し、カウンターで予約を申し込む利用者が多い。パスワード発行の手続きが心理的なハードルになっている様子がかかわれる。 【今後の取組】 今後も利用者カードの新規登録時などに、インターネットや館内OPACでの予約サービスの周知に努める。また、パソコンに不慣れな利用者層にも、館内OPACのタッチパネル操作を案内していく。	4	
	当初設定目標	460000																
	23年度	499908		←	←	←	←	←	←	←	←	←						
	22年度	485419		←	←	←	←	←	←	←	←	←						
	21年度	450931		←	←	←	←	←	←	←	←	←						
	20年度	374284		71622	10103	21659	8822	78251	52678	39026	40707	18944	32472					
	WEB予約の利用者の満足度(大いに満足している人の割合)	当初設定目標	61%															
	20年度	55.40%		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
	OPAC予約件数																	
	当初設定目標	60000																
23年度	50639																	
22年度	55471		12438	←	3738	743	13846	8019	3132	5137	4704	3714						
21年度	55116		12996	←	3210	1021	13278	8204	3434	4799	4346	3828						
20年度	55349		12673	←	3223	1182	12980	8231	4336	4492	4495	3737						
館内OPACの利用者の満足度(大いに満足している人の割合)	当初設定目標	31%																
20年度	27.80%		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						

項目	年度	合計	全館	岡町	館外	庄内	庄内幸町	千里	野畑	東豊中	服部	高川	蛭池	典拠	市区立の比較	評価内容(客観的变化/方向性等)	H23評
ビジネス支援サービス	データベース利用人数													2	-	【現状】 今年度は、「住民生活に光をそそぐ交付金」を活用して、「ビジネス支援サービス」の取組を強化した。資料の充実や書架の配置替えをはじめ、関係部局や機関との連携により、新たな視点からの支援サービスを実施した。市の産業フェアにも出展し、図書館のビジネス支援サービスのPRを行った。 データベースの利用人数はあまり伸びていないが、職員がレファレンスの回答にあたりデータベースを頻繁に使用している。 【今後の取組】 今回の交付金をきっかけに始まった関係部局・機関との連携を緊密に行い、地域の情報拠点としてビジネス・就労に関する様々な情報の収集や発信に努める。また、データベースの利用について効果的なPRを検討する。	2
	当初設定目標	250															
	23年度	31					31										
	22年度	45					45										
	21年度	71					71										
	20年度	99					99										
	提供データベース数																
	当初設定目標	6															
	23年度	2					2										
	22年度	2					2										
21年度	4					4											
20年度	4					4											
ビジネス支援サービスの満足度													5				
当初設定目標	35%																
	20年度	31.60%															
インターネット情報へのアクセス	利用人数													2	-	【現状】 利用が減少している館はあるが、全体としては増加している。 【今後の取組】 今後も様々な媒体で、インターネット利用サービスのPRをしていく。また、端末を増設するなど市民が図書館でインターネットを活用できる環境を整備する。	4
	当初設定目標	15000															
	23年度	18589		2172		1598	438	7771	1366	1216	1226	1519	1283				
	22年度	16757		1953		1786	204	6909	1523	1070	813	1499	1000				
	21年度	14940		1751		2210	286	4972	1234	973	819	1483	1212				
20年度	9846		965		1392	187	3744	1040	567	662	761	528					
e-レファレンスの実施 (メールでのレファレンスの受付および回答)	レファレンス件数													-	-	【現状】 21年より稼動したe-レファレンスだが、利用は伸び悩んでいる。電話や来館による口頭でのレファレンス(調査相談)に比べると、文字を入力する手間などで敬遠されているきらいもあるが、反面、時間や距離に制約されず相談ができるというメリットがあり、一度利用した方が繰り返し利用する傾向がある。 【今後の取組】 ホームページ上でレファレンス事例の公開等を進めることで、まずはレファレンスサービスを周知し、その中でe-レファレンスの利用方法もPRしていく。	2
	当初設定目標	540															
	23年度	29		←	←	←	←	←	←	←	←	←	←				
	22年度	22		←	←	←	←	←	←	←	←	←	←				
	21年度	12		←	←	←	←	←	←	←	←	←	←				
20年度	未実施																
5.子どもの読書活動を推進しているか。																	
子どもへの資料提供	貸出冊数	当初設定目標	770000											1	-	【現状】 子どもへの資料提供については、18才までの貸出人数は減少しているが、乳幼児向けのおはなし会や行事に来館する保護者は多く、30代の絵本・児童書の利用が増えており、保護者が子どものために利用する姿がうかがえる。減少の理由としては、庄内幸町図書館の機能変更による影響等もみられる。YA世代のサービスの充実や特集コーナーの工夫、探している資料がみつからなかったら職員に聞いて欲しいという張り紙の掲示など、子どもが読みたい本や知りたいことを見つけられるよう各館の実情に合わせて取り組みを行った。 【今後の取組】 一人でも多くの子どもたちに図書館を利用してもらえるよう取り組みをすすめていく。保護者が子どものために絵本・児童書を利用しやすくするため、乳幼児対象のインターネット予約サービスを実施する。	3
		23年度	738987	25289(継続)	←	←	←	←	←	←	←	←	←				
		22年度	753104	24654(継続)	←	←	←	←	←	←	←	←	←				
		21年度	753155		←	←	←	←	←	←	←	←	←				
		20年度	721248		←	←	←	←	←	←	←	←	←				
	貸出人数	当初設定目標	200000														
	23年度	178656		←	←	←	←	←	←	←	←	←					
	22年度	183027		←	←	←	←	←	←	←	←	←					
	21年度	175974		←	←	←	←	←	←	←	←	←					
	20年度	184356		←	←	←	←	←	←	←	←	←					
子どもの本の貸出 (紙芝居も含む)	貸出冊数	当初設定目標	1100000											1			3
		23年度	1063154	163476	74064	48975	8323	171377	193517	132403	136499	60818	73702				
		22年度	1081367	167426	74676	49722	16469	167760	197069	127359	135593	66978	78315				
		21年度	1054214	164383	73117	50481	17380	156269	199263	118442	133888	69556	71435				
	20年度	1025193															

項目	年度	合計	全館	岡町	館外	庄内	庄内幸町	千里	野畑	東豊中	服部	高川	蛭池	典拠	市区立の比較	評価内容(客観的変化/方向性等)	H23評
おはなし会	実施回数(対象別)	当初設定目標	900													【現状】「えほんはじめまして」の取り組みをフォローするものとして、乳幼児と保護者向けのおはなし会が定着し、保護者同士のコミュニケーションの場にもなっている。地域の実情に合わせて、対象者の年齢を分け実施したり、0歳向けおはなし会の回数を増やすなど工夫している。保育所のお散歩での来館時に行う「おさんぽおはなし会」や、小・中・高校生・大学生ボランティアによる幼児・小学生向け紙芝居会も実施している。小学生の参加が課題となっていたことから、夏・冬・春休みの学休期などに実施する館が増えている。さらに、新たな試みとして実施した男性職員によるおはなし会はケーブルTVの取材を受け、好評であった。 【今後の取組】 今後ともより多くの子どもたちが参加できるよう、他施設やボランティアと連携し実施していく。乳幼児向けのおはなし会は、研修をさらに積んで担当職員を増やすことが引き続きの課題である。同様に小学生を対象にしたおはなし会についても、充実を図る。	3
		23年度	873		172	47	99	12	151	71	104	46	93	78	1		
		22年度	930		177	50	105	24	169	73	110	60	95	67			
		21年度	861		147	42	109	17	189	77	66	58	91	65			
		20年度	892		159	54	112	22	150	82	106	58	91	58			
	参加人数	当初設定目標	18000														
		23年度	16273		2967	1378	1135	233	3330	1243	2528	800	1205	1454			
		22年度	15977		2922	1230	1130	242	3852	1321	1781	940	1418	1141			
	21年度	15345		2569	1166	1067	82	4336	1526	1097	838	1345	1319				
	20年度	16876		2997	1047	1139	120	4104	2118	1507	973	1634	1237				
地域の子ども文庫・乳幼児施設・放課後こどもクラブ(旧留守家庭児童会)への団体貸出	貸出冊数	当初設定目標	48000													【現状】 子ども読書活動推進事業により連携がすすみ、利用は定着している。保育所幼稚園からのお散歩での来館時に読み聞かせを行うなど、貸出のほかにも様々な形で本の世界との出会いを提供するよう努めている。放課後こどもクラブへの配本は41校全校となり、長期休業中の配本時に子どもたちの様子を見たり、どんな本が好きか訊くなどして選書の参考にすることができた。 【今後の取組】 今後も子どもの身近な施設の読書環境を充実するために団体貸出を行っていく。	3
		23年度	47089	継続4795	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	1		
		22年度	47587	継続6080	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←			
		21年度	45734	継続4280	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←			
		20年度	47739		←	←	←	←	←	←	←	←	←	←			
子どもの本や読書に関する情報提供	リスト配布数	当初設定目標	22000													【現状】 23年度は、ブックスタート事業「えほんはじめまして」の次の段階の取組みとして、1歳から2歳くらいまでを対象とした絵本紹介リーフレット「こんにはえほん」を新たに作成し、1歳6か月児健診で配布した。赤ちゃん向け絵本紹介冊子「えほんはじめまして」や「とよなかこども読書マップ」「YA! BOOKS通信」も引き続き発行している。図書館ホームページの「こどものページ」には、子ども対象の行事の案内を載せ、行事終了後も写真やおはなし会のプログラムを載せるなど更新を行っている。「こどものページ」アクセス件数は減少しているが「あかちゃんページ」の件数は増加。「えほんはじめまして」や絵本の読み聞かせ出前講座などで保護者にPRできたことなどの成果とみられる。乳幼児の保護者が家にいながら子育て情報を得ることに役立っている。その他、ケーブルTVで、ブックスタート事業に関する特集が組まれ、豊中子ども文庫連絡会の協力で、赤ちゃんと一緒に絵本が楽しめるよう読み聞かせの方法を紹介した。 【今後の取組】 YA通信のような取組みをすすめる。ホームページの定期的な更新、本や図書館サービスを紹介する機会を増やしていく。学校で実施している情報検索の講習会で図書館のホームページの説明をしているが、さらに利用してもらえるようPRす	4
		23年度	19617	10600	1448	←	668	←	6901	←	←	←	←	←	1		
		22年度	24895		1409	10000	687	←	12799	←	←	←	←	←			
		21年度	23278		1346	10000	623	←	11309	←	←	←	←	←			
		20年度	20236		919	11500	697	←	6250	870	←	←	←	←			
	キッズページ(HP「こどものページ」)のアクセス件数	当初設定目標	11000														
		23年度	22088		←	←	←	←	←	←	←	←	←	←			
		22年度	23675		←	←	←	←	←	←	←	←	←	←			
	21年度	27358		←	←	←	←	←	←	←	←	←	←				
	20年度	10331		←	←	←	←	←	←	←	←	←	←				
子どもの本や読書に関わる大人への啓発事業	つどい・講座の実施回数	当初設定目標	65													【現状】 職員による出前講座が定着している。子育てサロンは社会福祉協議会を通じて講座の依頼があり、子育てサークルや庄内保健センターにおける妊婦教室も定例化した取組みとして位置付けられている。また、「みんなあつまれわくわくランド」などでも職員が出向き、保護者向けに絵本と読み聞かせの相談を行う等、定例化した事業以外にも地道な取り組みを続けている。その他、えほんにたっち(ブックスタートのフォロー事業)、保育所(園)・幼稚園教諭・学校教諭を対象とする絵本講座も毎年実施している。 【今後の取組】 講師となる職員の研修と育成に取り組み、内容の充実を図っていく。校区交流会等にも参加し、情報交換と課題の共有に努める。	4
		23年度	67		30		13	0	4	3	7	3	3	4	1		
		22年度	74		23	←	18	0	9	4	6	3	5	6			
		21年度	67		17	←	13	0	9	13	4	3	3	5			
		20年度	72		18	←	19	0	12	4	10	2	3	4			
	参加人数	当初設定目標	2500														
		23年度	2260		1153		276	0	134	176	226	74	78	143			
		22年度	2742		1281	←	403	0	319	170	250	116	89	114			
	21年度	2196		831	←	252	0	386	275	153	148	51	100				
	20年度	2715		1009	←	318	0	617	102	282	116	72	199				
地域の子ども文庫など市民との共催・協力事業	開催数	当初設定目標	600													【現状】 開催数は減少したが、参加人数は増加した。開催数の減少は庄内・蛭池の地域子ども教室の一部終了が主な要因である。開催数、参加人数ともに増加している館もある。講座のように単発のものだけではなく、定例のおはなし会など数多く共催・協力事業を実施し、定着している。 【今後の取組】 今後とも各種団体等と適宜連絡・打ち合わせを行い、各々が持つ情報や地域が抱える課題を共有し、市民と行政の協働による一体感のある事業の実施を目指す。	3
		23年度	557		84	31	71	12	55	49	46	50	97	62	1		
		22年度	592		84	30	94	12	45	54	49	54	97	73			
		21年度	513		44	34	93	8	38	42	33	59	85	77			
		20年度	575		77	52	112	11	22	64	50	60	77	50			
	参加人数	当初設定目標	15000														
		23年度	13452		2737	877	1936	233	2541	1362	673	835	1022	1236			
		22年度	12871		2433	1001	2108	176	2299	958	542	952	1294	1108	1		
	21年度	11924		1575	948	1770	52	1991	1387	843	851	1272	1235				
	20年度	14276		1785	1498	2070	69	1566	3259	930	1100	1275	724				

項目	年度	合計	全館	岡町	館外	庄内	庄内幸町	千里	野畑	東豊中	服部	高川	蛭池	典拠	市区立の比較	評価内容(客観的变化/方向性等)	H23評	
ヤングアダルト向け資料の充実と読書環境の整備	貸出冊数	当初設定目標	120000											1		【現状】23年度には、岡町のヤングアダルトコーナーを「YA!BOOKS」としてリニューアルした。また、市内9校すべての高校の学校案内を収集・提供し、YA世代を含め幅広い利用者から好評を得た。対象年齢の貸出人数・冊数ともに微増し、20年度に初めて「YA!BOOKS」を設置したときの増加が一時的なものではなく、YA世代の利用が定着していることがうかがわれる。 【今後の取組】各館の担当者会を開催し、取組みやノウハウを共有する。YA向けポータルサイトの開設やメールマガジンの配信など、ICTを活用した情報サービスを検討する。	3	
		23年度	114351	継続6632	←	←	←	←	←	←	←	←	←					
		22年度	113440	継続6265	←	←	←	←	←	←	←	←	←					
		21年度	114000		←	←	←	←	←	←	←	←	←					
		20年度	107020		←	←	←	←	←	←	←	←	←					
	貸出人数	当初設定目標	42000															
		23年度	36593		←	←	←	←	←	←	←	←	←					
		22年度	36539		←	←	←	←	←	←	←	←	←					
	21年度	36383		←	←	←	←	←	←	←	←	←						
	20年度	36374		←	←	←	←	←	←	←	←	←						
えほんはじめまして(豊中版ブックスタート)	実施回数	当初設定目標	36											1		【現状】23年8月から会場で絵本と出会った親子が家庭でも楽しめるよう、従来の取り組みに加えて絵本を1冊手渡すブックスタート事業を始めた。健診未受診者には、保健師による家庭訪問時に手渡されている。事業の拡充にあたり、健診を受診するすべての親子に声をかけられるよう、ボランティアスタッフの募集を行い新たに14名が加わった。スタッフミーティングを開催し、関係者間で、情報共有と意見交換、研修等を行った。 【今後の取組】今後とも関係者・部局との連携・協力を一層強化するとともに、この事業を乳幼児サービスの新たな展開へつなげる。また事業周知のため、講座・講演会等を行う。	4	
		23年度	48←47		18		12		18	←	-	-	-					
		22年度	48		18	←	12	-	18	←	-	-	-					
		21年度	47		18	←	11	-	18	←	-	-	-					
		20年度	48		12	←	12	-	12	12	-	-	-					
	参加人数(組数)	当初設定目標	3400															
		23年度	3417←3442		1448		668		1301	(←千里)	-	-	-					
		22年度	3395		1409	←	687	-	1299	(←千里)	-	-	-					
	21年度	3278		1346	←	623	-	1309	(←千里)	-	-	-						
	20年度	3336		919	←	697	-	853	870	-	-	-						
ボランティア参加人数	当初設定目標	100																
	23年度	62		37	←	25	-	(←千里)	-	-	-	-						
	22年度	85		32	←	22	-	31	(←千里)	-	-	-						
	21年度	81		35	←	17	-	29	(←千里)	-	-	-						
	20年度	96		24	←	22	-	22	24	-	-	-						
子ども向け各種行事(工作など)・地域子ども教室の開催	実施回数	当初設定目標	300											1		【現状】実施回数は減少したが、参加人数は増加しており、効果的に行事が開催できた。実施回数の減少は高川の上映機器故障の影響や行事内容を精査したことによる。 【今後の取組】今後とも、時代のニーズや、地域の子どもの実情に合わせて、内容を精査し、利用の拡大につながるようなプログラムの提供に努める。	3	
		23年度	209		45		86		5	26	6	2	19					20
		22年度	236		11	←	103	0	5	27	4	1	62					23
		21年度	233		10	←	131	0	4	25	4	2	17					40
		20年度	315		41	←	122	0	6	37	4	2	63					9
	参加人数	当初設定目標	5500															
		23年度	5635		1154		1629		449	766	301	113	350					873
		22年度	4567		222	←	1602	0	104	540	211	36	763					1089
	21年度	4872		211	←	2223	0	194	667	220	54	693	610					
	20年度	5590		662	←	1833	0	336	904	227	127	815	786					
6.学校・学校図書館への支援と連携を推進しているか。																		
学校図書館への資料提供	担当校数		59		14	←	6	3	8	9	6	5	4	4	2		【現状】貸出冊数・予約件数ともにやや減少した。学校間の資料貸借が盛んになってきたこと、各校の蔵書の整備が進んできたことが背景にあると考えられる。学期毎読み物・絵本を50冊追加しての貸出を21年度の2学期から実施しているが、利用は少ない。23年度には新たに課題解決の取り組みの1つとして調べ学習用の資料を選書した。また、庄内幸町図書館に設置した「学校図書館支援ライブラリー」ではモデルケースとして貸出バックを対象校で巡回貸出させ、夏休み用に読み物・絵本の貸出を行った。「とよなかブックプラネット事業」では学校司書や司書教諭を対象とした研修を行ったり、市民向けにもフォーラムを開催。また各学校を訪問して実情を聞き取るなどの取り組みを進めている。 【今後の取組】「とよなかブックプラネット事業」は25年度の本格実施に向けて、物流の充実や学校図書館システムの導入などに取り組んでいる。「学校図書館支援ライブラリー」では教員向け資料の選書を行い、市内の学校に勤務する教員を対象に貸出を始める準備を進めていく。各館と学校図書館の連携についても、実情の把握とサービス内容の充実引き続き努める。	3
	貸出冊数	当初設定目標	46000															
		23年度	38850	継続10672	9549		4255	3154	4419	5804	3822	2651	3182	2014				
		22年度	41310	継続10962	9862	←	4431	2654	4940	6267	3463	3818	3259	2616				
		21年度	40913	継続9535	8582	←	4600	2598	5745	6127	3501	2869	4094	2797				
		20年度	41355		6647	←	5386	2458	6557	7463	2987	3054	3850	2948				
	予約件数	当初設定目標	36000															
		23年度	32800		7852		3956	2118	3666	5055	3416	2547	2568	1622				
	22年度	33879	-	7637	←	3607	2386	3987	5304	3181	3383	2716	1678					
	21年度	30605	-	6189	←	3070	2382	4618	4498	3016	2248	2948	1636					
	20年度	34126		6345	←	4255	2361	5295	5999	2784	2215	2773	2099					
調べ学習・教材研究のためのレファレンス	レファレンス件数	当初設定目標	500											2		【現状】減少傾向だったレファレンス件数は増加している。学校図書館において、教員からのレファレンスが増加していることがうかがわれ、テーマに基づく資料探しが増えている。23年度は課題解決の予算で調べ学習用の資料を選書。その際、各館で把握していた調べ学習や、よくあるレファレンスのテーマを参考にした。 【今後の取組】23年度購入した調べ学習用の資料を、貸出できるよう整備する。また学校現場の状況把握に努めながら、その情報を各館で共有し円滑な資料提供を行っていく。また、レファレンスの正確な数値の把握が困難であるが、実態を反映できるようカウント方法を検討する。	2	
		23年度	171		26		21	7	20	55	11	6	7					18
		22年度	102	-	12	←	5	3	10	28	8	9	7					20
		21年度	165	-	5	←	27	2	11	50	7	20	11					32
		20年度	369		7	←	20	2	17	57	9	19	20					20

項目	年度	合計	全館	岡町	館外	庄内	庄内幸町	千里	野畑	東豊中	服部	高川	蛭池	典拠	市区立の比較	評価内容(客観的変化/方向性等)	H23評
7.高齢者、障害者および外国人の読書環境づくりをすすめているか。																	
高齢者への資料提供	貸出冊数	当初設定目標	500000													【現状】 高齢者の貸出については、対象人口の増加に伴い人数・冊数ともに増加している。資料の閲覧等を中心に、滞在型利用をする高齢の利用者を数値的に把握することは、現在できていないが、個人利用が出来る場として、一度現役をリタイヤした市民にとって、地域における居心地の良い施設として図書館が認知されている様子がうかがえる。 【今後の取組】 高齢者各自の環境、ニーズは多様であり、一人ひとりの満足度を高めるようなサービスの提供が必要である。高齢者の心身の状態に応じた柔軟な対応の必要性が求められる場面が増えている。今後さらに図書館が、研究成果の発表の場や交流の場になれるよう、取り組みを検討する。	4
		23年度	542929	継続21691	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←		
		22年度	518597	継続19215	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←		
		21年度	506455		←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←		
		20年度	469904		←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←		
	貸出人数	当初設定目標	190000														
		23年度	189625		←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←		
	22年度	179872		←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←			
	21年度	172931		←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←			
	20年度	174667		←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←			
高齢者・老人保健施設への貸出	貸出冊数	当初設定目標	4500													【現状】利用の内訳は、図書館による配本利用の施設が1774冊、職員や利用者が来館して利用する施設が3226冊となっており、来館での利用が定着している。来館利用では、施設の職員や利用者が選んで借り出すほか、図書館職員が選書した資料をまとめて借り出しに来る利用もあり、状況に応じたサービスを行っている。貸出冊数の減少は、施設側の都合により一回当たりの提供数が減少したことなどが要因である。 【今後の取組】 今後とも、小規模ホームなど地域の高齢者施設の把握につとめ、サービスのPRや利用団体の掘り起こしに努める。	4
		23年度	5000		←	←	←	←	←	←	←	←	←	←			
		22年度	5306	継続59	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←			
		21年度	5333	継続38	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←			
		20年度	3974		←	←	←	←	←	←	←	←	←	←			
	登録団体	当初設定目標	30														
		23年度	25		←	←	←	←	←	←	←	←	←	←			
	22年度	27		←	←	←	←	←	←	←	←	←	←				
	21年度	24		←	←	←	←	←	←	←	←	←	←				
	20年度	27		←	←	←	←	←	←	←	←	←	←				
宅配・郵送貸出(墨字本)	件数	当初設定目標	220													【現状】 宅配の件数は、全体としては今年も減少傾向にある。配本体制の構築が課題となっているが、個々の利用者の事情にあわせて関係をつくりながら行うサービスのため、配本体制整備だけで解決できるものでもない。庄内と幸町の件数の変動は担当館の移動による。郵送貸出については、郵送費の問題があり、積極的に実施できない状況が続いている。 【今後の取組】 潜在的な利用者に対して、サービスの内容を丁寧にお伝えすることを大切にPRをすすめる。 中長期を見据え、郵送費や配本体制を含め、宅配サービス全体の再構築とPRについて検討していく必要がある。	2
		23年度	122		29		19	0	41	9	12	12	0	0			
		22年度	147		37	←	0	31	39	12	12	8	0	8			
		21年度	162		66	←	0	36	33	11	13	3	0	0			
		20年度	171		67	←	0	59	18	10	12	4	0	1			
	冊数	当初設定目標	1700														
		23年度	1387		299		196	0	418	176	146	152	0	0			
	22年度	1283		336	←	0	85	300	227	146	84	0	105				
	21年度	1090		363	←	0	85	243	182	200	17	0	0				
	20年度	1067		292	←	0	172	181	176	191	39	0	16				
対面朗読	件数	当初設定目標	190													【現状】 利用件数は増加している。 自宅から近い図書館を希望する事例があり、専用の部屋のない服部でも実施した。 【今後の取組】 全館で実施可能であることを、あらためてお知らせし、潜在的な利用者の掘り起こしに努める。	3
		23年度	161		103		0	0	4	46	0	1	0	7			
		22年度	149		79	←	0	0	7	43	0	0	0	20			
		21年度	123		82	←	0	0	0	41	0	0	0	0			
		20年度	155		104	←	0	0	8	43	0	0	0	0			
	ボランティア参加人数	当初設定目標	190														
		23年度	161		103	←	0	0	4	46	0	1	0	7			
	22年度	149		79	←	0	0	7	43	0	0	0	20				
	21年度	123		82	←	0	0	0	41	0	0	0	0				
	20年度	155		104	←	0	0	8	43	0	0	0	0				
点字・録音図書の貸出	貸出タイトル数/相互貸借数															【現状】 声の広報がカセットからデジターに変わることを受け、市として対象者にデジター対応の可否の調査が行われた。その結果図書館のデジター図書利用につながるケースが続いた。また、図書館のホームページ上に点字図書やデジター図書の新着案内を掲載するよう、業務を改善した。 【今後の取組】 貸出用のデジター図書再生機が旧式であるため、機器の更新に取り組む。さらに、サピエ図書館への入会登録(データのアップロードとダウンロードが可能になることで、利便性が向上する)を目指し、中長期的に予算の確保に取り組む必要がある。	2
	【貸出冊数/相互貸借借用/相互貸借貸出】	当初設定目標	1700/570/80														
		23年度	702/548/78		←	←	←	←	←	←	←	←	←	←			
		22年度	565/450/46		←	←	←	←	←	←	←	←	←	←			
		21年度	626/403/47		←	←	←	←	←	←	←	←	←	←			
	20年度	1089/577/81		←	←	←	←	←	←	←	←	←	←				
障害者施設・支援学校(旧養護学校)への貸出	貸出冊数	当初設定目標	8700													【現状】 民間の障害児通所施設へ新たに団体貸出を行うようになった。 【今後の取組】 今後も引き続き、動く図書館の巡回や団体貸出によって、図書館への来館が困難な子どもたちへのサービスを行う。	3
		23年度	7382	継続266	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←			
		22年度	7573	継続378	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←			
		21年度	7608	継続306	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←			
		20年度	5408		←	←	←	←	←	←	←	←	←	←			
	登録数	当初設定目標	50														
		23年度	32		←	←	←	←	←	←	←	←	←	←			
	22年度	32		←	←	←	←	←	←	←	←	←	←				
	21年度	39		←	←	←	←	←	←	←	←	←	←				
	20年度	44		←	←	←	←	←	←	←	←	←	←				

項目	年度	合計	全館	岡町	館外	庄内	庄内幸町	千里	野畑	東豊中	服部	高川	蛭池	典拠	市区立の比較	評価内容(客観的変化/方向性等)	H23評	
多言語資料(図書)の収集	受入冊数/年度	当初設定目標	200											4	-	【現状】今年度は「住民生活に光をそそぐ交付金」を活用した課題解決支援サービスのひとつとして、「多文化共生支援サービス」の取組を強化した。豊中に住む外国人への資料提供のため、以前より収集している子ども向けの資料に加えて、中国、韓国、ブラジル、フィリピン等の各言語の成人向け資料を、計1511冊新たに購入し、庄内に多文化共生コーナーを設けた。 【今後の取組】ホームページに言語別の資料リストを掲載したり、ハンブルや中国語などの英語以外の言語資料の書誌データを作成することにより、外国語資料も利用しやすい環境を整えていく。	4	
		23年度	1228		←	←	←	←	←	←	←	←	←					
		22年度	132		←	←	←	←	←	←	←	←	←					
		21年度	90		←	←	←	←	←	←	←	←	←					
		20年度	94		←	←	←	←	←	←	←	←	←					
	言語数	当初設定目標	42															
		23年度	42		←	←	←	←	←	←	←	←	←					
		22年度	42		←	←	←	←	←	←	←	←	←					
	21年度	42		←	←	←	←	←	←	←	←	←						
	20年度	42		←	←	←	←	←	←	←	←	←						
多言語おはなし会	実施回数	当初設定目標	5											1	-	【現状】開催数、参加人数は増加したが、目標値までは程遠い。内訳は「おやこでにほんご」「子どもと本のまつり」「千里コラボまつり」でのおはなし会である。各国の母語や文化に親しむ機会であると同時に、豊中に住む外国人からの情報発信の場ともなっている。読み手の確保や継続性、PRの不足などが課題となっている。 【今後の取組】“多文化共生支援サービス”での関係機関との連携を通じ、また「おやこでにほんご」や千里コラボでの「多文化カフェ」など市民との協働の場を活用しながら、情報発信の機会を増やし、地域における多文化共生の実現につなげていく。	2	
		23年度	3		2	0	0	0	1	0	0	0	0					
		22年度	1		0	1	0	0	0	0	0	0	0					
		21年度	3		0	1	0	0	0	0	2	0	0					
		20年度	3		0	1	1	0	0	0	1	0	0					
	参加人数	当初設定目標	300															
		23年度	73		60	0	0	0	13	0	0	0	0					
		22年度	66		0	66	0	0	0	0	0	0	0					
	21年度	117		0	33	0	0	0	0	84	0	0						
	20年度	265		0	40	45	0	30	90	55	0	0						
8.地域の情報センターとして積極的に活動しているか。																		
地域資料・情報の収集・保存・提供	図書所蔵冊数	当初設定目標	3400											3 & 4	-	【現状】23年度は図書館ホームページに“とよなか”ってこんな街！”を新規掲載した。ここには、豊中が関係する歴史的なできごとやゆかりの人物の紹介、さらに豊中の散策スポットやビジネス、交通やイベント情報をまとめて案内している。地域の“今”“昔”のどちらの情報も図書館が提供できることをアピールすることで、図書館の新しい利用方法を提案する。また、地域情報のアーカイブ化事業である「北摂アーカイブス」は、写真展や講演会なども行い、好評を得た。さらに音声で聞ける「豊中の民話」をHP上に掲載した。 【今後の取組】今後も積極的に地域情報の「蓄積・編集・発信」を市民とともに行っていく。また、図書館が所蔵する古文書などについてもデジタル化・公開に向けて検討を重ねていく。	4	
		23年度	3782		1423	13	308	39	782	791	76	124	130					96
		22年度	3606		1389	11	289	33	757	748	65	110	119					85
		21年度	3454		1262	35	280	48	677	722	88	122	130					90
		20年度	3109		1235	11	249	22	653	653	47	76	100					63
	雑誌・新聞所蔵タイトル数	当初設定目標	183															
		23年度	183		43	0	8	11	47	32	12	8	9					13
		22年度	183		43	0	8	11	47	32	12	8	9					13
	21年度	183		43	0	8	11	47	32	12	8	9	13					
	20年度	183		43	0	8	11	47	32	12	8	9	13					
本の展示・紹介	展示回数	当初設定目標	530											2	-	【現状】各館の限られたスペースではあるが、ほぼ月単位でテーマ展示・巡回展示を行っている。加えて課題解決資料の常設館では、関連図書を組み合わせ広がりのある展示をおこない、効果をあげている。また小中学校図書館および高校との連携による、おすすめ本企画展示への反響がおおきく、多様な資料の貸出しにつながった。 【今後の取組】今後も効果的、効率的な展示紹介をおこない、市民の読書活動を支援していく。	3	
		23年度	455		59	12	71	0	111	27	72	35	38					30
		22年度	562		70	13	65	24	158	40	42	38	72					40
		21年度	550		58	10	72	21	158	38	34	35	72					52
		20年度	527		60	10	72	21	158	45	32	35	48					46
人権に関わる講演会・パネル展等の開催	実施回数	当初設定目標	12											1	-	【現状】実施回数と参加人数はやや減少している。啓発事業として地域の団体との共催等により、部落問題と多文化共生に関する講演会を開催した。野畑では、暮らしの課題解決支援サービスとして「子育て・DV」に関する資料提供とともに、DVに関するパネル展や講演会を行った。蛭池では「子育てふれあいの会」として地域での人権の取り組みが活発であるが、その事業については22年度より実施回数にのみ計上している。 【今後の取組】人権課題の解決に向けて、効果的な啓発が行えるよう、講演会のテーマや手法等を検討していく。	4	
		23年度	15		1	←	0	0	0	3	0	0	0					11
		22年度	15		0	←	1	0	1	1	0	0	1					11
		21年度	6		1	←	0	0	0	1	0	0	0					4
		20年度	12		0	←	0	0	1	0	0	0	1					10
	参加人数	当初設定目標	1200															
		23年度	116		35	←	0	0	0	58	0	0	0					23
		22年度	140		0	←	16	0	57	30	0	0	0					37
	21年度	1056		26	←	0	0	0	30	0	0	0	1000					
	20年度	1123		0	←	0	0	53	0	0	0	30	1040					

項目	年度	合計	全館	岡町	館外	庄内	庄内幸町	千里	野畑	東豊中	服部	高川	蛭池	典拠	市区立の比較	評価内容(客観的変化/方向性等)	H23評
9.市民との協働事業を推進しているか。																	
リサイクル本の活用による図書館の活性化と地域における共生を推進するための事業(しょうないREK)	主催・参加事業数															【現状】 常設のリサイクル本販売の利用は減少傾向にあるが、イベントでの古本市は利用者・冊数ともに増加しており、子どもから高齢者まで幅広い層に利用されている様子から、地域での活動が定着してきているといえる。情報発信事業として「ごみの新分別啓発ビデオ」(減量推進課制作)の5カ国語吹き替えに着手し、英語版が完成した。また、活動報告書の出版準備を始めた。しょうないREKの情報発信のため、ツイッターとフェイスブックを開設した。 【今後の取組】 地域に定着した事業として、協働スタッフと共に事業内容を検討し、より効果的に事業を進める。	2
	当初設定目標	140															
	23年度	110				110	-	-	-	-	-	-	-	-	1		
	22年度	131	-	-	-	131	-	-	-	-	-	-	-	-	1		
	21年度	136	-	-	-	136	-	-	-	-	-	-	-	-	1		
	20年度	140	-	-	-	140	-	-	-	-	-	-	-	-	1		
	開室日数																
	当初設定目標																
	23年度	41				41	-	-	-	-	-	-	-	-	1		
	22年度	42	-	-	-	42	-	-	-	-	-	-	-	-	1		
	21年度	40	-	-	-	40	-	-	-	-	-	-	-	-	1		
	20年度	41	-	-	-	41	-	-	-	-	-	-	-	-	1		
	提供冊数																
当初設定目標																	
23年度	9505	-	-	-	9505	-	-	-	-	-	-	-	-	2			
22年度	11582	-	-	-	11582	-	-	-	-	-	-	-	-	2			
21年度	11981	-	-	-	11981	-	-	-	-	-	-	-	-	2			
20年度	10931	-	-	-	10931	-	-	-	-	-	-	-	-	2			
市民・図書館関係団体・グループとの会議回数	実施回数															【現状】 実施回数はほぼ横ばいとなっている。「子ども読書活動推進連絡協議会」や「しょうないREK実行委員会」「千里文化センター市民運営会議」等、関係者が広く関わる会議の定期開催により、具体的な取り組みやしくみ作りにつながっている。 また、ブックスタート事業の拡充等により、関係団体との会議や打ち合わせ等情報共有の必要性が増しており、スタッフミーティング等を開催した。 【今後の取組】 会議の開催はもとより、日常の中で出来る情報共有の有効な手段を検討していく。	4
	当初設定目標	80															
	23年度	89		11	49	10	0	14	3	2	0	0	0	2			
	22年度	95	-	11	55	17	0	12	0	0	0	0	0	2			
	21年度	96	-	11	58	19	0	8	0	0	0	0	0	2			
	20年度	78	-	11	46	15	0	6	0	0	0	0	0	2			
	参加人数																
	当初設定目標	1200															
	23年度	1366		99	946	92	0	171	48	10	0	0	0	0	2		
	22年度	1338	-	75	998	115	0	150	0	0	0	0	0	0	2		
21年度	1685	-	80	1375	125	0	105	0	0	0	0	0	0	2			
20年度	1157	-	80	1011	157	0	91	0	0	0	0	0	0	2			
各種団体、地域の活動団体・グループとの共催・協力事業	実施回数															【現状】 実施回数はやや減少しているが、参加人数は増加している。子ども読書やしょうないREK、千里コラボ等での取組みに加えて、北摂アーカイブス事業等新たな協働事業も定着してきた。回数の減少は、庄内・蛭池の地域子ども教室の指導者の都合もあり一部終了したことが主な要因である。 【今後の取組】 今後も図書館が地域の課題解決に向けて情報を集め、役割を担えるよう、関わりを深めていく。	3
	当初設定目標	720															
	23年度	625		125	123	12	58	53	48	48	94	64		1			
	22年度	676		115	←	152	12	60	55	53	55	97	77	1			
	21年度	557		82	←	137	8	45	42	32	60	95	56	1			
	20年度	603		97	←	141	11	31	86	50	58	70	59	1			
	参加人数																
	当初設定目標	26000															
	23年度	22071		3670	4921	223	2965	1459	767	835	1022	6209		1			
	22年度	20997		3434	←	5170	176	2592	1004	793	996	1294	5538	1			
21年度	15510		2450	←	4634	52	2276	1387	870	904	1642	1295	1				
20年度	22554		3375	←	4241	69	1821	2375	909	1060	2668	6036	1				
10.市民団体・ボランティアの学習と活動を支援しているか。																	
読書会への支援	登録団体数															【現状】 図書館から資料を提供する登録団体数は、横ばいである。グループによっては、メンバーの減少や開催頻度の減少傾向も続いている。読書会で取り上げる作品の検討のため、参考リストの作成、提供を継続している。このほかに、図書館に資料の相談をされない自主運営の会も多い。 【今後の取組】 図書館を活動の場とする読書会活動について、図書館のホームページ上でも紹介できるよう、図書館から働きかけていく。	3
	当初設定目標	9															
	23年度	8		←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	1			
	22年度	8		←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	1			
	21年度	9		←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	1			
	20年度	8		←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	1			
	貸出冊数																
当初設定目標	1000																
23年度	707		←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	1				
22年度	728		←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	1				
21年度	684		←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	1				
20年度	962		←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	1				
図書館関係団体・グループへの活動支援	関係団体数															【現状】 団体数、会議数ともに微増した。23年度はブックスタート事業の本格実施に向けて豊中子ども文庫連絡会との打ち合わせを行い、連携を密にするための会議の重要性を改めて認識した。 【今後の取組】 今後も関係団体にとっての支援となるよう、情報共有を密にしていく。図書館においては事業のレベルアップやサービスの改善、ニーズの掘り起こしにつなげ、広く市民に還元していくよう努める。	4
	当初設定目標	40															
	23年度	41		←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	1			
	22年度	40		←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	1			
	21年度	39		←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	1			
	20年度	37		←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	1			
	図書館と団体との会議数																
当初設定目標	36																
23年度	99		←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	2				
22年度	91		←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	2				
21年度	50		←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	2				
20年度	36		←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	2				

項目	年度	合計	全館	岡町	館外	庄内	庄内幸町	千里	野畑	東豊中	服部	高川	蛭池	典拠	市区立の比較	評価内容(客観的变化/方向性等)	H23評
おはなしボランティアへの活動支援	(講座)実施回数	当初設定目標	18													【現状】 貸出冊数は増加傾向にある。小学校において、朝の読書の時間等で、読み聞かせが盛んに行われていることを反映している。ブックスタート事業「えほんはじめまして」の協力者として新たなボランティアが加わった機会に、あらためて事業の趣旨や子育てと絵本について学ぶ場を持った。さらに、小学校等で活動しているボランティアグループを対象に、図書館員と既存のおはなしボランティアが講座を行うケースも、少しずつ増えている。また各館では、日常的に職員が読み聞かせに関わる相談に応じている。 【今後の取組】 フォローアップ講座や地域交流会の開催を継続実施する。また、おはなしボランティアから活動上の相談を受けるなかでは、本選びや活動への心構えなどをたずねられることも多いことから、図書館職員が資料等に対する専門的な知識を深めるとともに、地域のボランティア活動の状況を把握し、相談等の支援に努めていく。	4
		23年度	18														
		22年度	17		0	14	1	0	1	0	0	1	0	0	3		
		21年度	19		1	14	1	0	1	1	0	0	0	1			
		20年度	17		0	14	1	0	1	0	1	0	0	1			
	参加人数	当初設定目標	500														
		23年度	377														
		22年度	421		0	377	9	0	30	0	0	5	0	0	3		
		21年度	476		16	366	15	0	38	15	0	0	0	26			
		20年度	503		0	417	23	0	32	0	0	0	0	31			
	貸出冊数	当初設定目標	11000														
		23年度	14932		←	←	←	←	←	←	←	←	←	←			
	22年度	13553		←	←	←	←	←	←	←	←	←	←				
	21年度	11149		←	←	←	←	←	←	←	←	←	←				
	20年度	9921		←	←	←	←	←	←	←	←	←	←				
点訳・音訳ボランティアグループへの活動支援	著作権処理件数	当初設定目標	150													【現状】 音訳ボランティアへのフォローアップ講座を引き続いて実施している。23年度は、協力団体の1グループが市民情報サロンで活動の紹介に取り組みされるよう仲介した。 【今後の取組】 ボランティア協力者の交通費を確保できるように、中長期的に取り組んでいく。また、音点訳図書データのアップロードとダウンロードが可能になる「サピエ図書館」入会登録の実現に向けて取り組む。	3
		23年度	-		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1		
		22年度	-		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
		21年度	96		96	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
		20年度	151		151	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	講座実施回数	当初設定目標	2														
		23年度	2		2	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
		22年度	2		2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1		
		21年度	2		2	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
		20年度	2		2	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	参加人数	当初設定目標	16														
		23年度	16		16	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	22年度	16		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1			
	21年度	17		17	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
	20年度	16		16	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
地域の活動団体・グループへの集会室の提供	利用人数	当初設定目標	22000													【現状】 利用人数、利用回数ともやや減少しているが、図書館関係団体、読書関係団体、社会教育・文化関係団体、福祉および地域振興団体などの多くの市民グループの活動に使用されている。近くに公民館等のない図書館では、地元の人たちにとって、地域コミュニティの共有スペースとしての役割も果たしている。 【今後の取組】 個々の活動支援にとどまらず、地域に還元されていくような支援のあり方について今後検討していく。集会室利用が幅広い図書館利用につながるよう、グループ同士の交流や活動報告の機会を設けることも検討する。	3
		23年度	19395		4969		0	360	1783	10261	1335	381	306	-			
		22年度	20450		5090	-	0	370	2338	10193	1653	535	271	-			
		21年度	17473		4627	-	0	392	2781	7450	1625	408	190	-			
		20年度	19791		4307	-	0	376	2236	10895	1521	284	172	-			
	利用回数	当初設定目標	1800														
		23年度	1765		397		0	59	264	803	134	86	22	-			
		22年度	1809		387	-	0	57	341	770	139	96	19	-			
		21年度	1648		333	-	0	58	312	718	144	65	18	-			
		20年度	1471		307	-	0	59	314	587	129	51	24	-			